

全労協

発行所
全国労働組合連絡協議会
 東京都港区新橋4-21-7つるや加藤ビル4階B
 TEL 03-5403-1650
 FAX 03-5403-1653
 発行人 渡 邊 洋
 定価 1部 40円
 (組合員の購読料は組合費の中に含む)

烏森日記

国民民主党が参院選での山尾志桜里氏の公認を取り消した▼玉木代表の不倫は不問に付し、山尾氏の不倫のみあげつらうマスコミ・世論のミソジ

二一への批判もある▼玉木氏はこの世間の反応を十分予測できたはず。それでも批判を判断はしなかった。

候補することとなったが、全労協としては推薦、支持等の判断はしなかった。

今回、個々の加盟組合、地域全労協の多くが、大椿氏に對して推薦・支持等の一定の判断をしている。「全労協本部は傍観的な態度で良いのか」という声が寄せられた。

それでも、全労協が堅持してきた政治闘争の原則を踏まえた上で全労協としての判断を下すべきであり、簡単に結論を出さず慎重な議論に基づき判断を六月八日の全国常任幹事会の席で常任幹事にお願

いた。大椿氏が二〇二三年四月に繰り上げ当選してからこにちままでの奮闘ぶりについて、多くの常任幹事から感想が述べられた。

●大椿ゆうこ氏の勇気ある挑戦を応援しよう

非正規雇用労働者の代表を再び国会へ!

全国労働組合連絡協議会常任幹事会



国会で質問する大椿ゆうこ氏

全労協加盟の大阪教育合同労働組合所属の大椿ゆうこ参議院議員(社民党副党首)が、七月の参議院選挙で改選を迎える。全労協は、六月八日に開催された全国常任幹事会で参議院選挙に向けた態度について慎重に議論し、非正規雇用労働者の生の声を国会に届けるべく、大椿ゆうこ氏への「支持」を組織として決定した。

以下、常任幹事会での議論の要点を報告する。

「自公政治打倒」が私たちの最大公約数

労働運動が政治状況と密接な関係の下にある以上、労働組合が政治に対して一定の態度表明をすることは当然だろう。全労協は結成以来こにちままで、戦争準備と改憲、そして政治の私物化を進める自公政治打倒を一貫して掲げてきた。当然、個々の課題での

大椿ゆうこ

(参議院議員・社民党副党首)

1973年岡山県高梁市生まれ。2013年から大阪府在住。四国学院大学社会学部社会学科卒。就職氷河期世代。非正規雇用労働者として働き、解雇された経験が、政治に取り組む原動力に。2023年4月7日、参議院議員に繰り上げ当選。社会福祉士、精神保健福祉士、保育士資格を保持。家族はカタルーニヤ人のつれあいと保護猫2匹。(写真 第96回日比谷メーデー)

二〇一九年の参議院選挙に際し、大阪教育合同労働組合執行委員長(当時)の大椿氏が社民党から出馬の打診を受けた。その後、単組内での議論を経て、委員長を降りて立

候補することとなったが、全労協としては推薦、支持等の判断はしなかった。

今回、個々の加盟組合、地域全労協の多くが、大椿氏に對して推薦・支持等の一定の判断をしている。「全労協本部は傍観的な態度で良いのか」という声が寄せられた。

それでも、全労協が堅持してきた政治闘争の原則を踏まえた上で全労協としての判断を下すべきであり、簡単に結論を出さず慎重な議論に基づき判断を六月八日の全国常任幹事会の席で常任幹事にお願

いた。大椿氏が二〇二三年四月に繰り上げ当選してからこにちままでの奮闘ぶりについて、多くの常任幹事から感想が述べられた。

立憲各党との課題別の協力関係はあっても、対象とならうる政党は複数存在する以上、全労協として支持協力関係が特定政党に偏らないという基本的な立ち位置が存在し、それは今も変わらない。

全日建関西生コン支部が刑事弾圧を受け、様々なレッテル貼りがされる中でも、大椿氏は労組弾圧の不当性を国会質疑で取り上げ、正面から追及した。「闘う労働組合」の必要性についてもはっきりと言及している。厚労省の労働基準関連法制研究会で労働基準法改悪に関わる議論がされ

ていると聞きつけるや、真っ先に傍聴に駆けつけた。この行動力は国会議員の中でも突出している。

韓国オプティカルハイテック

ク来日闘争はじめ様々な労働組合の各省庁への申入れに際しては、背景に困難さがあるほどの実現に向けて調整に奮闘し、さらには取り組みが効果を上げるよう助言を惜しまない。街頭演説中の右翼の嫌がらせにも、ひるむことなく堂々と反論し、労働者や弱い立場の人びとを勇気づけてきた。入管法改悪反対のシツトインや国会前十九日行動には、連日応援に駆けつけ激励の挨拶を送ってくれた。

傍観者には留まらず 判断は慎重に

六月八日(九日)にかけて、第五回全労協常任幹事会合宿が静岡市の静岡交通ビルにお

いて開催された。年に一度、議論を深め交流を図るために一泊二日の合宿で行ってきた。今回は、静岡市で行われている参議院議員選挙に對する全労協の態度についての議論が行われ、全員一致して、大椿ゆうこ氏(社民党)を支持することが決定した。

また、この七月に予定されている参議院議員選挙に對する全労協の態度についての議論が行われ、全員一致して、大椿ゆうこ氏(社民党)を支持することが決定した。

そして、夜の静岡県共闘を交えた交流会は大いに盛り上がり、今後の闘いの活力となった。

(静岡県労働組合共闘会議代表幹事 鈴木英夫)

局長から、活動報告と情勢報告が提起され、「25けんり春闘全国実行委員会」については、本年度の中央最賃審議会答申まで、「25けんり春闘」の名称を残し、最賃闘争に取り組みることが確認された。そして、各労組報告と地方報告を全体で確認・共有した。

専門委員会報告では、労働法制プロジェクトからは、労基法解体に繋がる「労基研報告書」が一月に出され、今後、労政審労働条件分科会で議論し、応援する。各加盟労組における最大限の取り組みと共に、友誼団体、個人への働きかけ、全国比例区「大椿ゆうこ」の浸透をお願いする。

「を十二月まで予定する」という報告があった。また、最低賃金引き上げについては、「全労連・国民春闘」や「最賃キャンペーン委員会」などとさまざまな行動を展開することが確認された。その他、脱原発プロジェクト、女性委員会、青年委員会から取り組

「当事者」として 労働現場に寄り添う

大椿ゆうこ氏支持 全員一致で決定

大椿ゆうこ氏支持 全員一致で決定

大椿ゆうこ氏支持 全員一致で決定

大椿ゆうこ氏支持 全員一致で決定

大椿ゆうこ氏支持 全員一致で決定



議論を深め交流

議論を深め交流

議論を深め交流

議論を深め交流